

介護職員初任者研修シラバス（通信課程用）

使用する教材（全科目共通）

介護職員初任者研修テキスト（財団法人介護労働安定センター）

指導体制

面接指導はスクーリング時に行います。

課題に関する質問については科目当該講師が担当し、回答期限は1回につき2週間を目安とします。

科目名	職務の理解				
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・研修課程全体(130時間)の構成と各研修科目(10科目)相互の関連性の全体をあらかじめイメージできるようにし、学習内容を体系的に整理して、知識を効率・効果的に学習出来るような素地の形成を促す。 ・施設見学を行い、介護職が働く現場や仕事の内容を出来る限り具体的に理解させる。 				
項目名	講師名	時間数	通学時間数	通信時間数	講義内容・演習の実施方法等
多様なサービスの理解	中島寛子	3時間	3時間	0時間	介護保険サービス、介護保険外サービスの意義について学ぶ。視覚教材等使用する。
介護職の仕事の内容や働く現場の理解	中島寛子	3時間	3時間	0時間	施設見学を通して実際に働いている現場を見て、居宅、施設の仕事内容の理解等を図る。

科目名	介護における尊厳の保持・自立支援				
指導目標	介護における尊厳という概念に対する理解、虐待を受けている高齢者への対処方法についての知識を習得する。利用者及びその家族の要望にそのまま応える事と、自立支援・介護予防の考え方に基づいたケアの実践の違い、自立の概念への気づきを理解する。残存機能を効果的に活用しながら自立支援や重度化の予防・遅延化に資するケアへの理解を促す。				
項目名	講師名	時間数	通学時間数	通信時間数	講義内容・演習の実施方法等
人権と尊厳を支える介護	中島寛子	6時間	1時間	5時間	通信学習及び講義、演習にて <ol style="list-style-type: none"> (1) 人権と尊厳の保持 (2) ICF (3) QOL (4) ノーマライゼーション (5) 虐待防止・身体拘束の禁止 (6) 個人の人権を守る制度の概要について理解する。

自立に向けた介護	中島寛子	3時間	0.5時間	2.5時間	通信学習及び講義、演習にて (1) 自立支援 (2) 介護予防について理解する。
----------	------	-----	-------	-------	--

科目名	介護の基本				
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・介護の基本概念、職業倫理の重要性を習得し、家族による介護と専門職による介護の違い、介護の専門性について理解を促す。介護職としての基本的役割と医療・看護との連携の必要性について理解を促す。 ・介護におけるリスクへの気づき、緊急対応の重要性の理解と介護職に起こりやすい健康障害や受けやすいストレス、またそれらに対するストレス、健康管理について理解を促す。 				
項目名	講師名	時間数	通学時間数	通信時間数	講義内容・演習の実施方法等
(1) 介護職の役割、専門性と多職種との連携	松本奏子	1.5時間	0時間	1.5時間	通信学習にて学ぶ。 (1) 介護環境の特徴の理解 (2) 介護の専門性 (3) 介護に関わる職種
(2) 介護職の職業倫理	松本奏子	1時間	1時間	0時間	講義及び演習にて (1) 介護職の倫理と意義 (2) 介護職としての社会的責任とプライバシーの保護・尊重について理解する。
(3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント	満尾美子	2時間	2時間	0時間	講義及び演習にて (1) 介護における安全の確保 (2) 事故予防・安全対策 (3) 感染対策について学ぶ。
(4) 介護職の安全	松本奏子	1.5時間	0時間	1.5時間	通信学習にて学ぶ。 (1) 介護職の心身の健康管理

科目名	介護・福祉サービスの理解と医療との連携				
指導目標	<p>介護保険制度や障がい者自立支援制度を担う一員として介護保険制度の理念に対する理解を徹底する。</p> <p>利用者の生活を中心に考えるという視点を共有し、その生活を支援するための介護保険制度、障がい者自立支援制度、その他制度のサービスの位置づけや、代表的なサービスの理解を促す。</p>				
項目名	講師名	時間数	通学時間数	通信時間数	講義内容・演習の実施方法等
介護保険制度	榎木健太	4時間	1.5時間	2.5時間	通信学習及び講義、演習にて (1) 介護保険制度創設の背景及び

					目的、動向 (2) 仕組みの基礎的理解 (3) 制度を支える財源、組織・団体の機能と役割について理解する。
医療との連携とリハビリテーション	安本智子	2.5時間	0時間	2.5時間	通信学習にて学ぶ。 (1) 服薬介助と留意点 (2) 医療行為、健康チェック、訪問看護、施設における看護と介護の役割と連携 (3) リハビリテーションの理念
障がい者総合支援制度及びその他制度	小島亜貴	2.5時間	0時間	2.5時間	通信学習にて学ぶ。 (1) 障がい者福祉制度の理念 (2) 障がい者自立支援制度の仕組みの基礎的理解 (3) 個人の権利を守る制度の概要

科目名	介護におけるコミュニケーション技術				
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の心理や利用者との人間関係を著しく傷つけるコミュニケーションとその理由について考えさせ、相手の心身機能に合わせた配慮が必要であることへの気付きを促す。 ・チームケアにおける専門職種でのコミュニケーションの有効性、重要性を理解するとともに、記録等を作成する介護職一人ひとりの理解が必要であることへの気付きを促す。 				
項目名	講師名	時間数	通学時間数	通信時間数	講義内容・演習の実施方法等
介護におけるコミュニケーション	松本奏子	3時間	3時間	0時間	(1) 介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割 (2) コミュニケーション技法、道具を用いた言語的コミュニケーション (3) 利用者・家族とのコミュニケーションの実際についてロールプレイ等を行いながら理解する。
介護におけるチームのコミュニケーション	松本奏子	3時間	0時間	3時間	通信学習にて学ぶ。 (1) 記録における情報の共有化 (2) 報告 (3) コミュニケーションを促す環境

科目名	老化の理解				
指導目標	高齢者に多い心身の変化、疾病の症状等について具体例を挙げ、その対応における留意点を説明し、介護において生理的側面の知識を身に付けることの必要性への気付きを促す。				
項目名	講師名	時間数	通学時間数	通信時間数	講義内容・演習の実施方法等
老化に伴うこころとからだの変化と日常	今田香	3時間	1.5時間	1.5時間	通信学習及び講義、演習にて (1) 老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴 (2) 老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響について理解する。
高齢者と健康	今田香	3時間	1.5時間	1.5時間	通信学習及び講義、演習にて (1) 高齢者の疾病と生活上の留意点 (2) 高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点について理解する。

科目名	認知症の理解				
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症利用者の心理・行動の実際を示す等により、認知症の利用者の心理・行動を実感できるよう工夫し、介護において認知症を理解することの必要性への気付きを促す。 ・ 複数の具体的なケースを示し、認知症利用者の介護における原則についての理解を促す。 				
項目名	講師名	時間数	通学時間数	通信時間数	講義内容・演習の実施方法等
認知症を取り巻く状況	榎木健太	1時間	0.5時間	0.5時間	通信学習及び講義、演習にて認知症ケアの理念について理解する。
医療的側面から見た認知症の基礎と健康管理	今田香	1時間	0時間	1時間	通信学習にて認知症の概念、認知症の原因疾患とその病態、原因疾患別ケアのポイント、健康管理について理解する。
認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	榎木健太	2時間	1時間	1時間	通信学習及び講義、演習にて (1) 認知症の人の生活障がい、心理・行動の特徴 (2) 認知症利用者への対応について理解する。
家族への支援	榎木健太	2時間	1.5時間	0.5時間	通信学習及び講義、演習にて認知症の受容過程での援助、介護負担の軽減について理解する。

科目名	障がいの理解				
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・介護において障がいの概念とICFを理解しておくことの必要性の理解を促す。 ・高齢者の介護との違いを念頭におきながら、それぞれの障がいの特性と介護上の留意点に対する理解を促す。 				
項目名	講師名	時間数	通学時間数	通信時間数	講義内容・演習の実施方法等
障がいの基礎的理解	今田香	0.5時間	0時間	0.5時間	通信学習にて学ぶ。 (1) 障がいの概念とICF (2) 障がい者福祉の基本理念
障がいの医学的側面、生活障がい、心理・行動の特徴、かかり支援等の基礎的知識	今田香	1時間	0時間	1時間	通信学習にて学ぶ。 (1) 身体障がい (2) 知的障がい (3) 精神障がい (4) その他の心身の機能障がい
家族の心理、かかり支援の理解	小島亜貴	1.5時間	1.5時間	0時間	講義及び演習にて家族への支援、障がいの理解・障がいの受容支援、介護負担の軽減についてグループ討議を行う。

科目名	こころとからだのしくみと生活支援技術 I				
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施出来る。 				
項目名	講師名	時間数	通学時間数	通信時間数	講義内容・演習の実施方法等
介護の基本的な考え方	中島奈未	3時間	0時間	3時間	通信学習にて学ぶ。 (1) 理論に基づく介護（ICFの視点に基づく生活支援、我流介護の排除） (2) 法的根拠に基づく介護
介護に関するこころのしくみの基礎的理解	中島奈未	4時間	0時間	4時間	通信学習にて学ぶ。 (1) 学習と記憶の基礎的知識 (2) 感情と意欲の基礎知識 (3) 体の状態が心に与える影響 (4) 老化や障害を受け入れる適応行動と阻害要因
介護に関するからだのしくみの基礎的理解	中島奈未	4時間	0時間	4時間	通信学習にて学ぶ。 (1) 人体の各部の各称と動きに関する基礎知識

解					(2) 骨・関節・筋に関する基礎知識 (3) ボディメカニクスの活用 (4) 中枢神経と体性神経に関する基礎知識
---	--	--	--	--	--

科目名	こころとからだのしくみと生活支援技術 II				
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・介護実践に必要なこころとからだのしくみの基礎的な知識を介護の流れを示しながら、視聴覚教材や模型を使って理解させ、具体的な身体の各部の名称や機能等が列挙できるように促す。 ・サービスの提供例の紹介等を活用し、利用者にとっての生活の充足を提供し、かつ不満足を感じさせない技術が必要となることへの理解を促す。 ・利用者のその生活を支える技術の根拠を身近に理解できるよう促す。 ・「死」に向かう生の充実と尊厳ある死について考えることができるように、身近な素材からの気づきを促す。 				
項目名	講師名	時間数	通学時間数	通信時間数	講義内容・演習の実施方法等
生活と家事	中島奈未	1時間	0時間	1時間	通信学習にて家事と生活の理解、家事援助に関する基礎的理解と生活支援（生活歴・自立支援・多様な生活習慣・価値観など）について学ぶ。
快適な居住環境整備と介護	村上周	6時間	6時間	0時間	講義及び演習にて快適な住居環境に関する基礎知識、高齢者・障がい者特有の居住環境整備と福祉用具に関する留意点と支援方法（バリアフリー・住宅改修・福祉用具貸与等）について学ぶ。
整容に關したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	田中潤	6時間	6時間	0時間	講義及び演習にて整容に関する基礎知識、整容の支援技術（衣服着脱・口腔ケア・洗面）について実技を取り入れながら学ぶ。
移動・移乗に關したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	村上周	7時間	7時間	0時間	講義及び演習にて移乗、移動に関する身体の仕組みや介助方法について学ぶ。
食事に關したこころとからだ	田中麻裕	7時間	7時間	0時間	講義及び演習にて食事に關する基礎知識、環境整備、食形態、食器や用

だのしくみと自立に向けた介護					具の活用法、からだのしくみ等を学ぶ。また食事介助体験を行い、利用者の気持ちを体感する。
入浴、清潔保持に関するところとからだのしくみと自立に向けた介護	小川かすみ	7時間	7時間	0時間	講義及び演習にて様々な入浴方法の理解や留意点について学び、清拭介助含めた入浴介助の実技を行う。
排泄に関するところとからだのしくみと自立にむけた介護	加藤浩司	7時間	7時間	0時間	講義及び演習にて排泄に関する基礎知識を理解し、おむつ、尿器、便器、ポータブルトイレ等を活用し、排泄介助の実技を行う。
睡眠に関するところとからだのしくみと自立に向けた介護	高田拓史	5時間	5時間	0時間	講義及び演習にて睡眠のメカニズム、体位交換の意味、睡眠環境の整備について学ぶ。
死にゆく人に関するところとからだのしくみと終末期介護	高田拓史	6時間	6時間	0時間	講義及び演習にて、看取りについての理解を深め、終末期に関する基礎知識とところとからだのしくみ、家族の心理と支援方法についてグループ討議等も行う。

使用する備品等：ベッド、車いす、歩行器、杖、ポータブルトイレ、口腔ケア用品、福祉用具など

科目名	ところとからだのしくみと生活支援技術Ⅲ				
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> 介護過程における基礎的理解を習得する。 生活の各場面での介護について、ある状態像の利用者を選定し、一連の生活支援を提供する流れの理解と技術の習得、利用者の状況に合わせた介護を提供する視点の習得を目指す。 				
項目名	講師名	時間数	通学時間数	通信時間数	講義内容・演習の実施方法等
介護過程の基礎的理解	田中潤	6時間	6時間	0時間	介護過程の目的や意義、介護過程の流れ等を理解する。
総合生活支援技術演習	高橋浩太	6時間	6時間	0時間	事例を通して、介護計画の立案、介護技術の確認等行う。

科目名	振り返り				
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・研修を通じて習得したことの復習と再確認を促す。 ・就業やその後の介護の学習、次のステップに向けての課題を認識させる。 				
項目名	講師名	時間数	通学時間数	通信時間数	講義内容・演習の実施方法等
振り返り	中島寛子	3時間	3時間	0時間	講義を通じて学んだ全過程を振り返り、習得した事についての再確認を行う。
就業への備えと研修終了後における継続的な研修	中島寛子	1時間	1時間	0時間	講義及び演習にて働く現場における継続的学習の必要性と今後の課題や目標について発表する。